



子育てコーチングのある暮らし (Vol.4 2010年・春)

こんにちは！黒田晴美です。
1月は大型児童館ビックバンさんでの講演、
2月は名古屋でのセミナーを開催いたしました。
4月はお友達に誘われて「Mother Hearts」
として、神戸の癒しスタジアムに出店させて
いただくことになりました。
そして5月はまた名古屋でセミナーと相違
わらず飛び回っております。
皆さんともまたどこかで目にかかれる機
会があることを楽しみにしています。

さて、今回はコーチングを使った
「ダダの回避の仕方」について。
お出かけの途中やお友達と遊んでいるとき
でも、子どものダダって容赦がありません
よね(苦笑)。そんな時に、有効な秘訣を
教えちゃいます☆

Profile

黒田晴美 兵庫県神戸市在住
生涯学習開発財団認定コーチ

黒田晴美の子育てコーチングBLOG
http://goo.ne.jp/niko2_coach/
お問合せは niko2_coach@goo.jp



先日、ケーキを買いにいったときのことです。そ
のお店では、お店の片隅にちよっとしたソファや子
ども用のテーブルと椅子を用意してくださっていて、
そこには絵本が置かれていました。注文して作って
いただくことになったので、少し待ち時間があります。
花はすっかり絵本に夢中になっていたので、すぐ目の
前の保育園まで風を迎えにいってくるまでの間、そ
らで待っていてくれることになりました。

風を連れてお店に戻ってみると、あら。風よりもま
だ小さい男の子が花と一緒にいました。店内を見回し
ても、他にお客さんはいません。ん？と思っていたら、
お店の方が

「すみません、うちの子なんです」
とおっしゃいました。

なるほど。お母さんのお仕事が終わるのを待って
いるようです。最初は、ソファに座って絵本を読ん
でいた風でしたが、子ども用のテーブルに行きたいよ
うです。だけど、子ども用の椅子は2脚。すると、お
店の方がデザイナーの違う子ども用のいすをもう1脚出
してくださいました。しばらくは子どもも3人仲良く絵
本を読んでいたのですが、そのうち男の子が

「ダーメ！ダーメ！」
と愚図りはじめました。

「あらあら、どうしたの？」

と顔見知りであろう他の店員さんが声をかけてもお
さまりません。そのうち、お母さんも奥からでてきて、
「ダメじゃないよ」

と優しく首を振って、男の子をたしなめています。
だけど、やっぱり男の子は「ダーメ！ダーメ！」をく
り返しながら、どんどんヒートアップしてきます。
どうやら、風が座っている椅子は自分の椅子だから、
使われるのが嫌なようです。

「いつもはこの椅子に見向きもしないのに、お友達に
貸してあげたら？」

お母さんは、なおも優しくいいいます。もちろん、お
客さんの前だからというのもあるでしょうが、こんな
に優しく穏やかにお子さんに接することができるお母
さんを、本当にすごいと思いました！そこで、私もつい
コーチ心が疼いて口を出してしまいました。

「ダメなんだね。」
ふっと男の子の声がおさまりました。

「ダメなんだよね。〇〇くんのお椅子だもんね。この
お椅子、好きなんだよね」

みるみる男の子が静かになっていって、涙のいっばい
たまった目で、じっとこちらをみてくれました。

「このお椅子がいいの？」
こくんとうなずきます。

「風くん、そのお椅子、〇〇くんのなんだって。〇〇
くん、そのお椅子がいいんだって。交代したげて？」
それまでのやりとりを聞いていた風は
「いいよ〜」
とすんなり交代してくれました。
それから、後は男の子もごきげんで遊んでいました。
私がしたことは、男の子の気持ちを、違うよ、ダメ
だよと否定せずに、ただ「そうなんだね」って受けと
めてあげただけです。『あなたはそういう気持ちなん
だよな？』って整理してあげただけです。
そうだよな、わかるよ〜というように必要以上
に大袈裟な共感もしませんでした。男の子のお母さん
からは

「すみません、どうもありがとうございました」
と感謝されてしまいました。私も初対面の男の子に、
こんな承認が効果的とは思いませんでした。

とっても素敵なお母さんなので、こうしたちよつと
したコツをご存知なら、もっと楽にお子さんとも関わ
っていきけるんだろうな、って思っちゃいました。

さて、ケーキも出来あがり、それを受け取ってお店
を後にします。スタッフの方が、お店のドアのところ
までお見送りをしてくださいました。男の子も、ず
っと大きく手を振ってバイバイしてくれました。

ほんの短い時間の関わりだったけど、男の子との間
に見えない絆ができたようで、とっても嬉しく思いま
した。ケーキも本当に美味しくて、家族みんなでペロ
リと食べてしまいました。あのケーキ屋さん、これか
らもうごひいきにしたいと思っています。

そうそう、帰ってから紙袋を開けると、クッキ
ーが2枚入っていました。こんな心遣いをそつとして
くださるところも、素敵だと思います。

コーチングの世界では「承認」は基本的なスキルで
す。そういってしまうと何だか難しく感じてしまっ
たかもしれないけれど、要するに相手の気持ちを否定せ
ずにもそのまま受け止めてあげること。それは、決して子
どもがいなくなるということでも、甘やかすことでもあ
りません。子どもは自分の気持ちを受け止めてもらえ
ることで、自分の存在の大切さを認識していくのです。
それができて初めて他の人のことも大切にできるよう
になります。

コミュニケーションの基本である家庭でもっとコー
チングスキルを活用していただければ、自分も相手も
大切に出来る人がもっともっと増えていくと思ってい
ます。